

本体を取り付ける

! 指定のスタンドを使用する

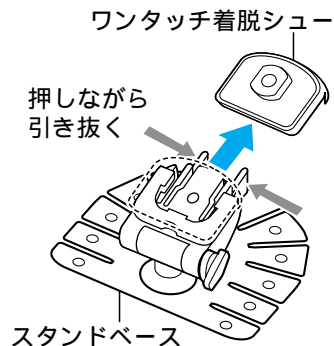
禁止 運転や視界の妨げになる場所に絶対に取り付けない

禁止 エアバッグのカバー部分や作動の妨げになる場所に絶対に取り付けない

取り付ける前に

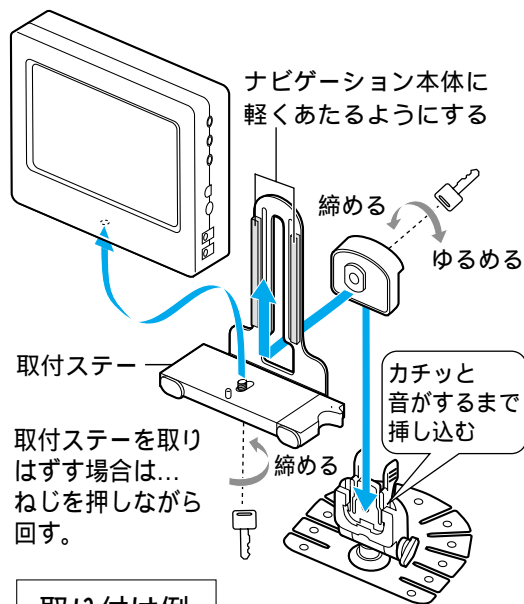
ナビゲーション本体をスタンドに仮止めし、取り付ける位置を確認してください。一度取り付けると、粘着力が弱くなるため、貼り直しができません。

準備 ダッシュボード用クリーナーで設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気は乾かしてください。気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。ワンタッチ着脱シューを取りはずしてください。(右図参照)

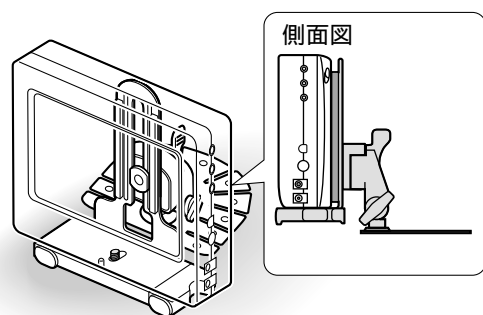


1 スタンドにナビゲーション本体を仮止めする

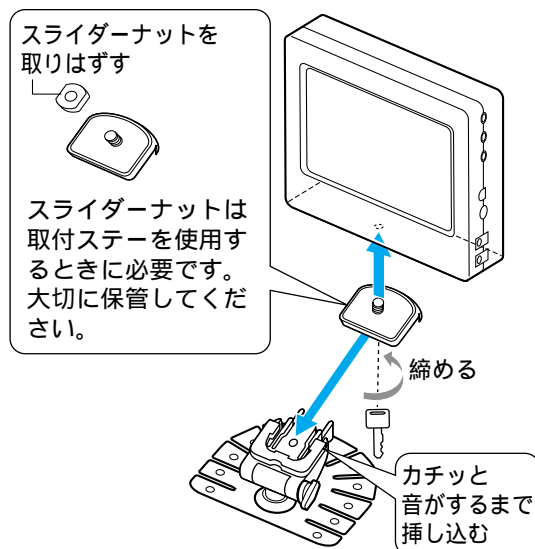
スタンドの前面に取り付ける場合



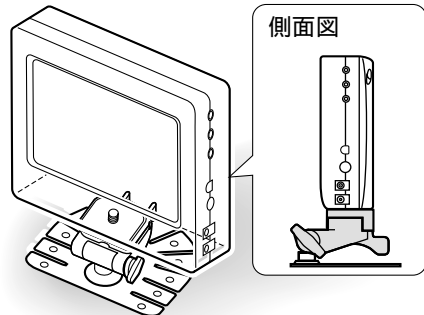
取り付け例



スタンドの上に取り付ける場合

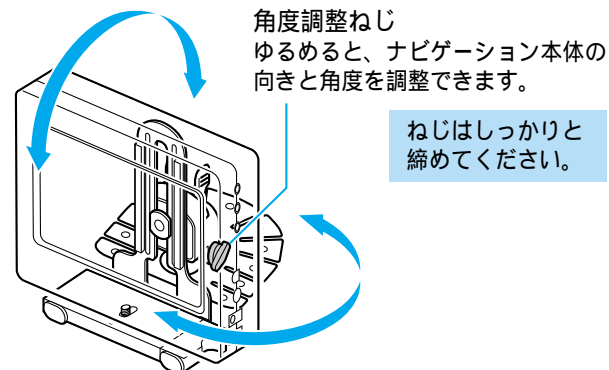


取り付け例

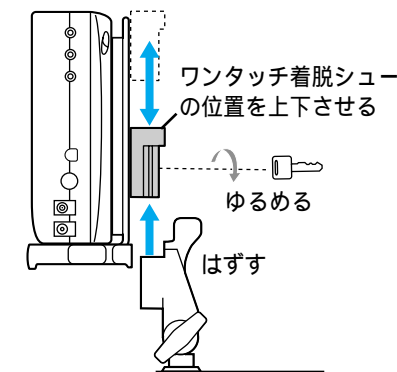


2 取り付ける位置を決める

向き・角度を調整する



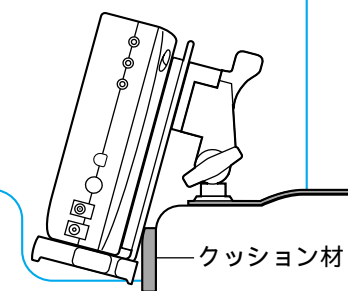
上下の位置を調整する
(スタンド前面に取り付ける場合のみ)



設置面(ダッシュボード)が平らでないときはスタンドベースを、ダッシュボードの形状に合わせて曲げてください。

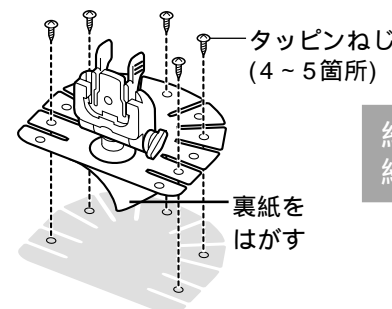
不安定な場所(傾いた場所・強い曲面など)には、取り付けしないでください。落下の原因になります。

ダッシュボードに取付ステーが接触するときは振動でノイズが発生する原因になりますので、接触する部分にクッション材を貼り付けてください。



3 スタンドをダッシュボードに取り付ける

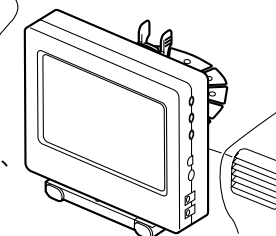
ナビゲーション本体は、一旦スタンドから取りはずしてください。スタンドベースを設置面に強く押し付けて、確実に密着させてください。貼り付けたあとは、固定力を強くするため、ナビゲーション本体を取り付けずに約24時間放置してください。安全のため、**付属のねじで固定してください。**(ダッシュボードに穴が開くことをご了承ください。)



約24時間以上経過したら...

ナビゲーション本体をスタンドに取り付けて、完成です。

エアバッグからは、離して設置してください。



準備
本体を取り付ける

配線する



シガーライター電源から複数の電源をとらない

禁止



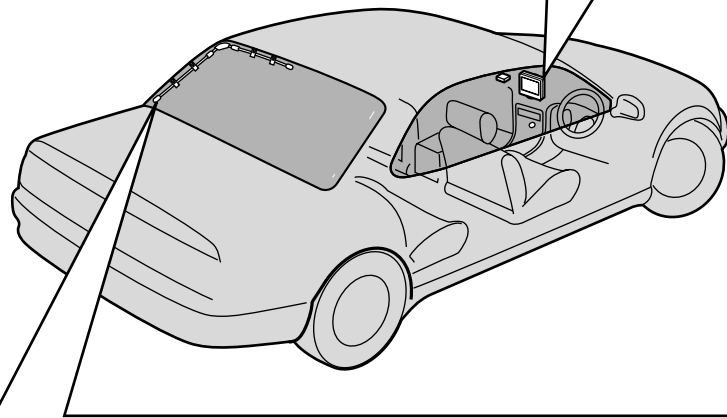
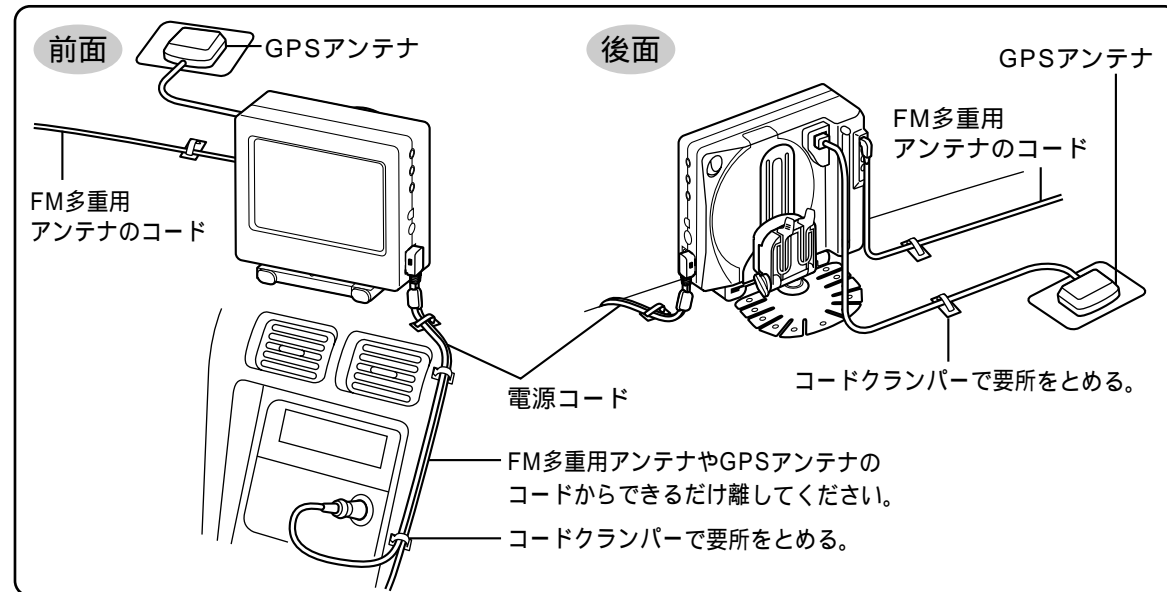
コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す



安全のため、必ずサイドブレーキコードを接続して使用する

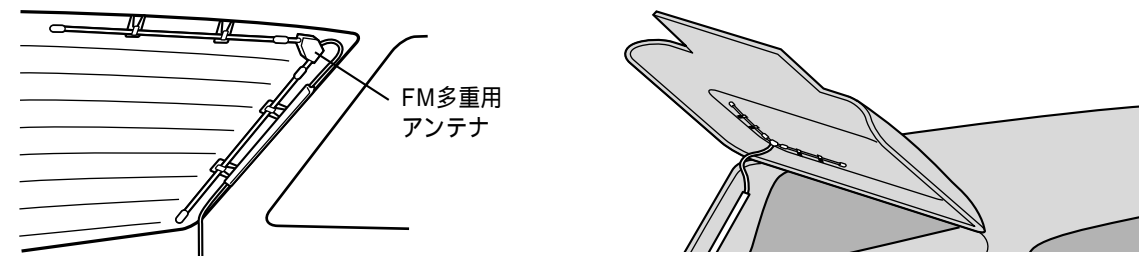
別売のデジタルサラウンドプロセッサと接続するには 119ページ

取り付け例



リアウィンドウ室内側に取り付けます。フロントガラスには取り付けないでください。上下逆に取り付けないでください。

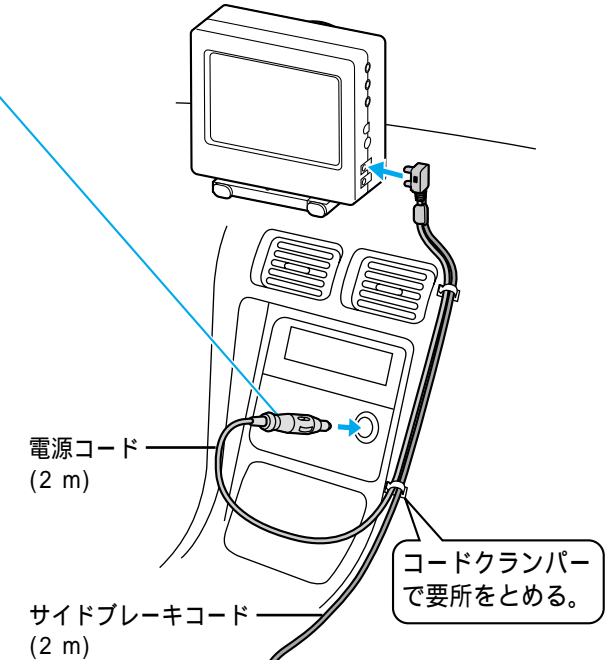
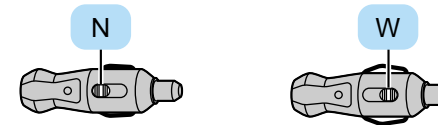
ハッチバックの場合はドアの開閉時にコードに無理な力が加わらないよう、適度なゆとりを持たせてください。



電源コードを接続する

電源プラグ
(DC 12 V ⊖アース車専用、ヒューズ 5 A)
シガーライターソケットの奥までしっかり挿し込んでください。
(接触不良の原因になることがあります。)
必ず、付属の電源コードを使用してください。
(故障の原因になります。)

スライドスイッチについて
ほとんどの車はN側で使用できますが、欧州車などソケットの口径の大きい場合は、W側に切り替えてお使いください。



サイドブレーキコードの配線

(安全のため、必ず行ってください。)

サイドブレーキスイッチ
サイドブレーキスイッチの位置は車によって異なります。詳しくは、車をお買い上げの販売店などにご相談ください。



サイドブレーキが解除のときに車体にアースされていない方へ接続してください。

圧着式コネクタ

圧着式コネクタの取り付けかた



準備
配線する

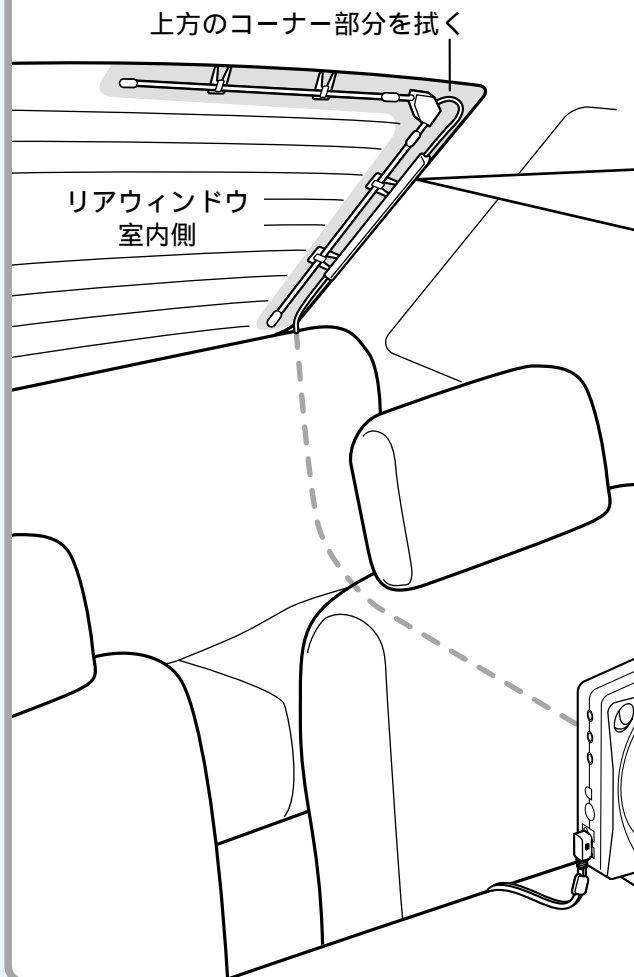
アンテナを接続する

付属のFM多重用アンテナは、簡易アンテナです。(リアウィンドウ取り付け型)
電波の受信状態が悪く、テレビの映りやFM多重の受信がよくない場合は、別売のダイバーシティアンテナ(CL-T70D/CL-T80D)をご利用ください。(P120ページ)

取り付ける前に

仮止めして、取り付ける位置を確認してください。
一度取り付けると、粘着力が弱くなるため、貼り直しができません。

準備 設置面(ガラス、ダッシュボード)のごみ、油、汚れなどをきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
気温が低いときは、設置面(ガラス、ダッシュボード)を温めてください。



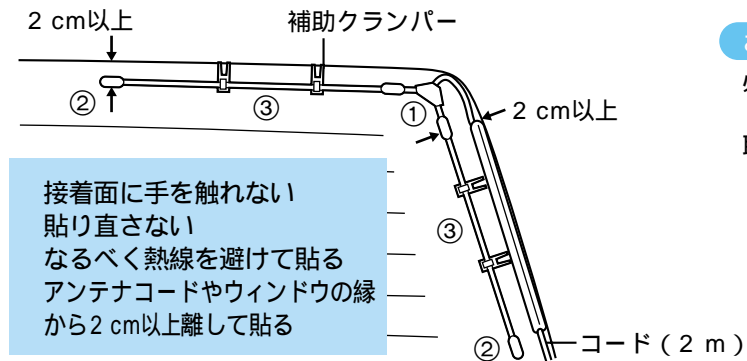
FM多重用アンテナ

1 アンテナを貼り付ける

- ① アンテナの本体部を貼る
- ② アンテナをまっすぐに伸ばして貼る
まっすぐに伸ばせない場合は...
自然にカーブさせる 折り曲げない



- ③ 補助クランパーを均等な位置になるように貼る



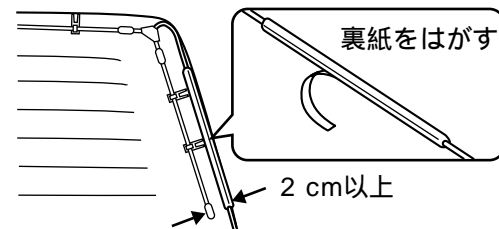
接着面に手を触れない
貼り直さない
なるべく熱線避けて貼る
アンテナコードやウィンドウの縁から2 cm以上離して貼る

お願い

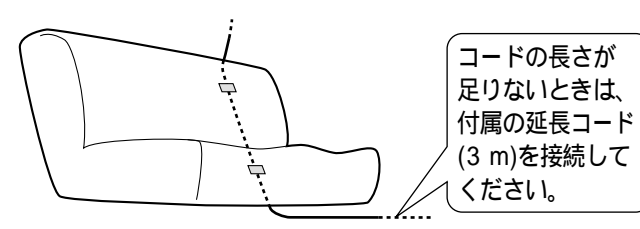
必ずリアウィンドウに取り付けてください。(フロントガラスには取り付けないでください。)

2 コードを引き回す

- ① ピラー(リアサイド)に沿わせて固定する



- ② リアシートの背面などにテープで固定する



お願い

電源コードやGPSアンテナのコードとは、できるだけ離してください。
シートレールやドアなどに挟み込んで、コードを破損しないようにしてください。

GPSアンテナ

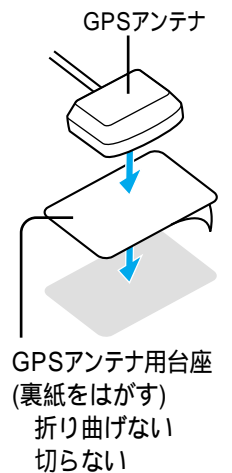
ダッシュボードの上(中央部のガラス付近)へ、水平になるように取り付けます。

取り付け位置について

各種電子機器から20 cm以上(推奨)離してください。
前方・後方の視界、およびデフロスタの性能を妨げない位置に取り付けてください。
助手席エアバッグの近くには、取り付けないでください。
電源コードやFM多重用アンテナのコードからは、できるだけ離してください。

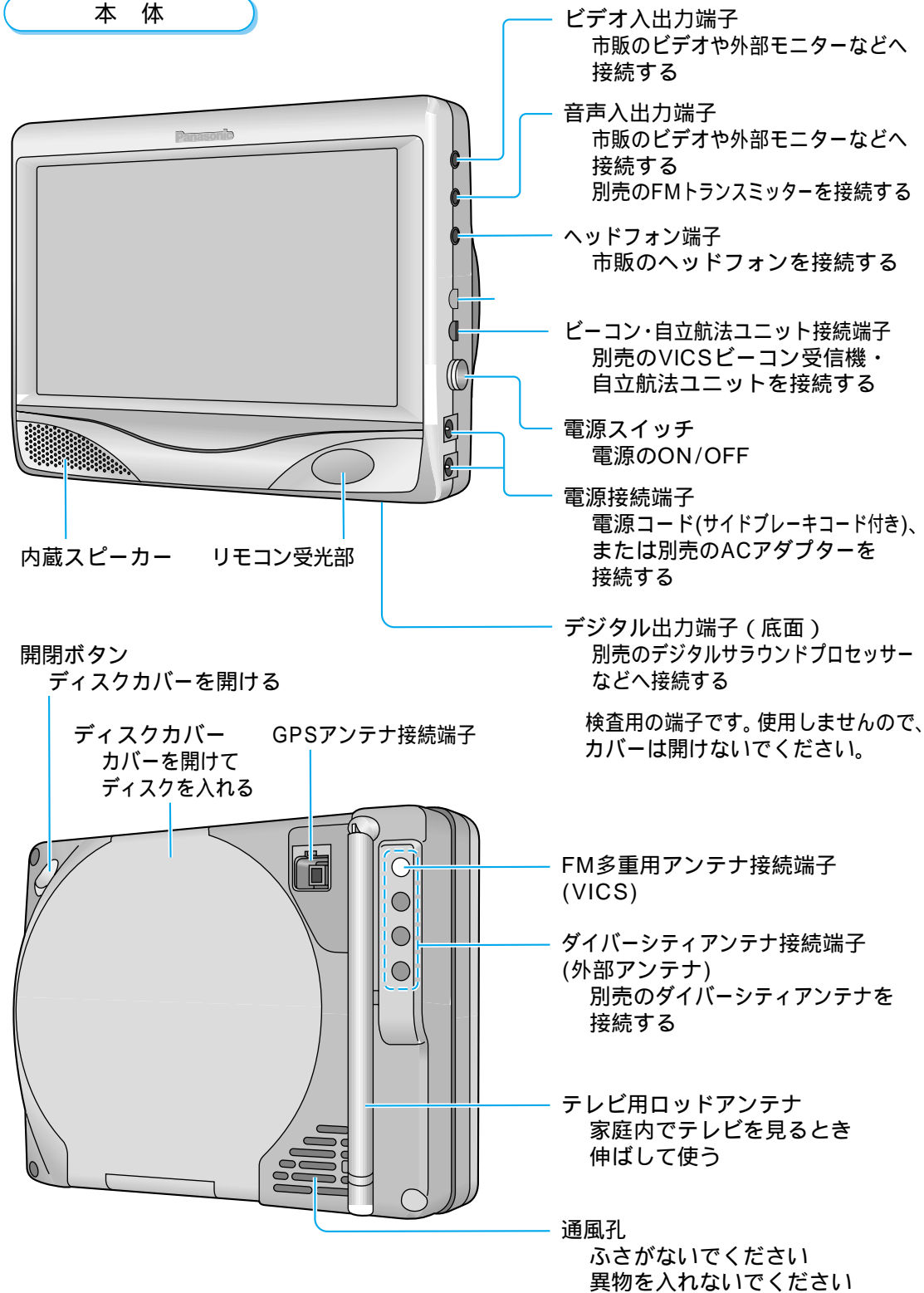
お願い

必ず、付属のGPSアンテナ用台座を使用してください。
GPSアンテナに時計や磁気カードを近付けないでください。
故障したり、使えなくなる場合があります。
あまったコードをまとめるときは、ナビゲーション本体から30 cm以上離してください。

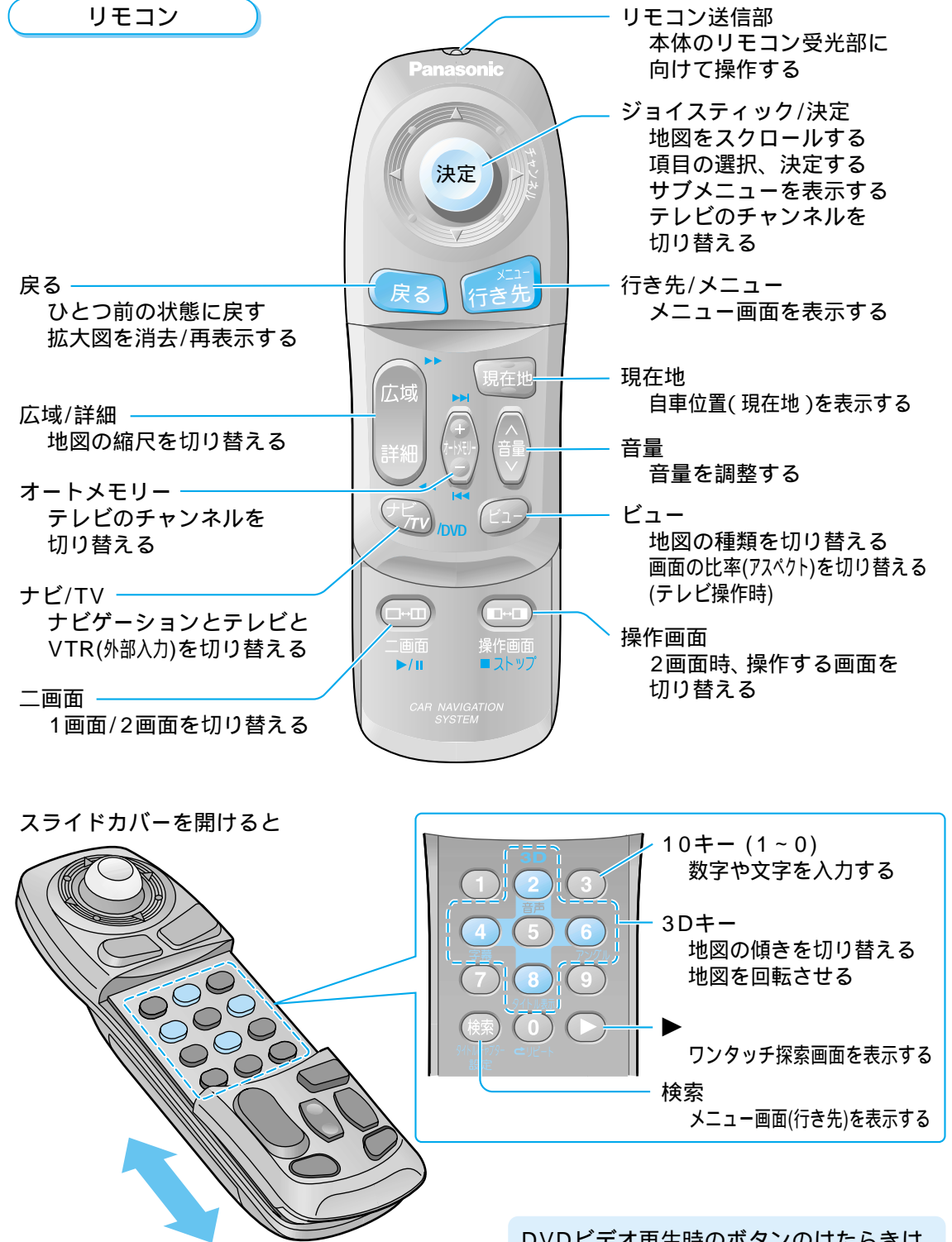


各部のなまえとはたらき

本体



リモコン

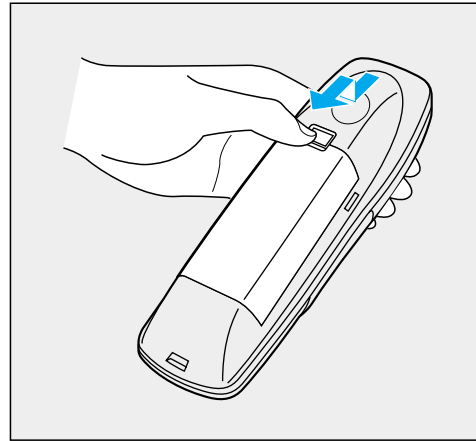


DVDビデオ再生時のボタンのなまえとはたらきは、異なります。(P.108ページ)

準備する

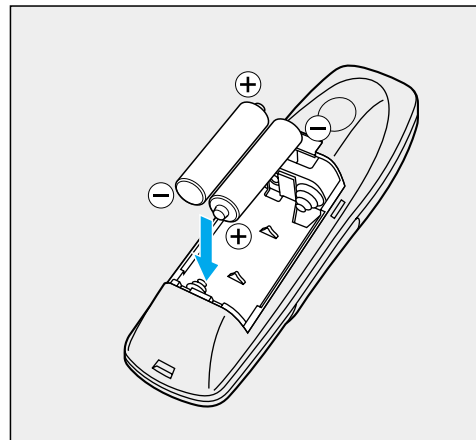
電池の入れかた

1 ふたを開ける。



2 電池を入れる。

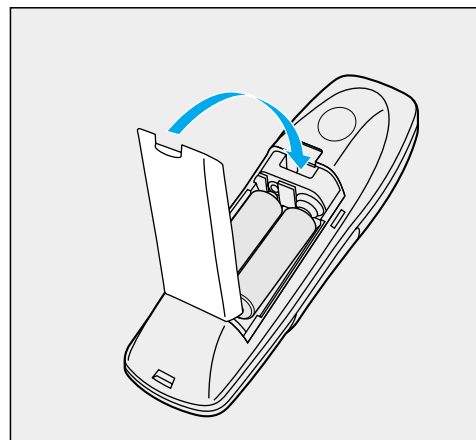
使用電池：単3形乾電池（R6PU）2個
電池寿命：通常の使用状態で約5ヶ月
（マンガン乾電池 / 常温時）



お願い

電池の \oplus \ominus 表示をよく確かめて入れてください。
電池は早めに交換してください。
指定外の電池を使ったり、新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使用しないでください。

3 ふたを閉める。



お願い

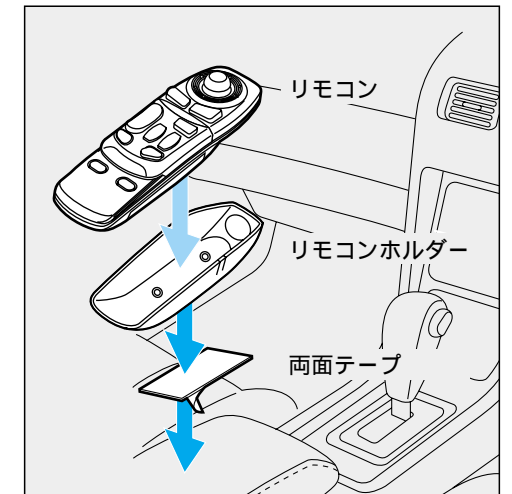
電池がはずれないように、リモコンのふたをしっかりと閉めてください。

リモコンホルダーの取り付けかた

両面テープで取り付ける。

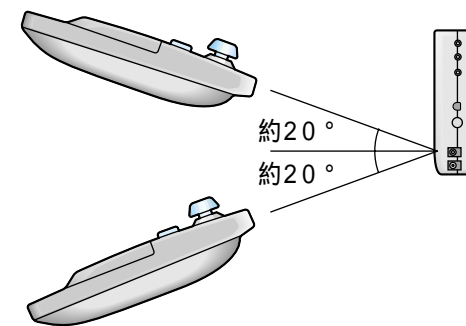
お願い

右図は、取り付けの一例です。運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
直射日光のあたるダッシュボードの上などには、取り付けしないでください。高温により変形することがあります。

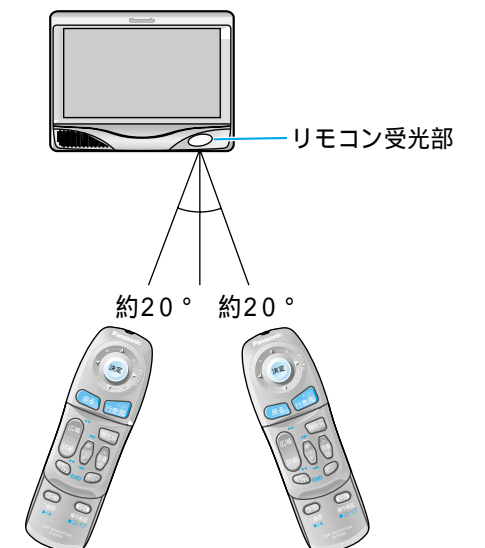


リモコンの使用範囲について

側面図



正面図



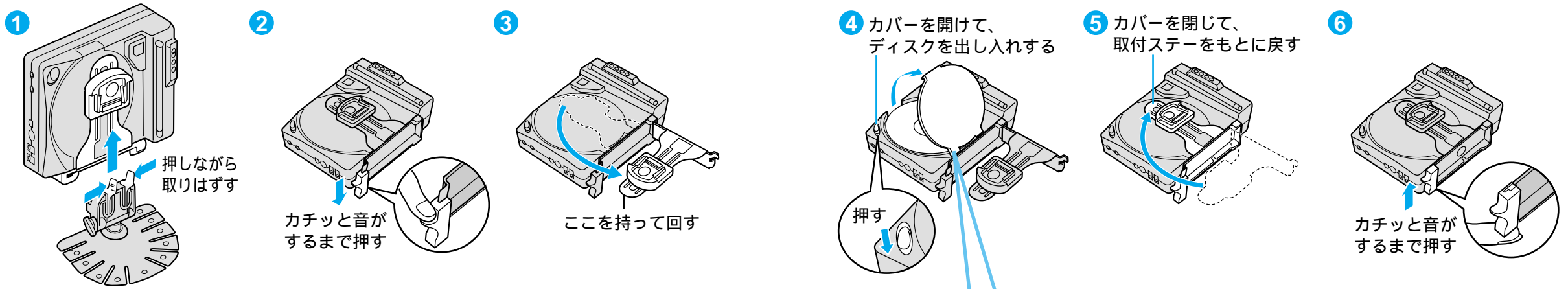
お願い

リモコンホルダーから取り出して、操作してください。

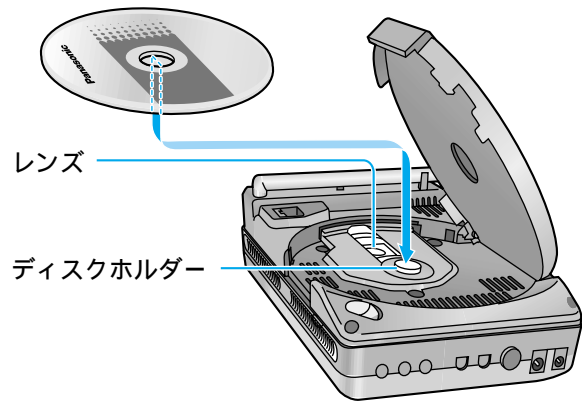
準備
準備する

準備する

地図ディスクを入れる (例: 取付ステーを使用している場合)



ディスクの入れかた
印刷面を外側に向け、ディスク中央の穴を
ディスクホルダーにはめ込む



ディスクの取り出しかた
ディスクホルダーを押さえながら
取り出す



接続されているコードは、すべて
取りはずしてください。



レンズおよびその周辺
には、絶対に触れない
でください。

お願い

本機内部およびディスク挿入口部分に異物を入れしないでください。
故障の原因になります。
カバーは確実に閉めてください。
本機の動作中にディスクを取り出さないでください。ディスクを取り
出すときは、電源を切り、しばらくたってからディスクを取り出して
ください。

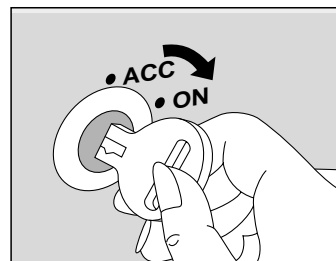
地図ディスクは、必ず、付属品(本機専用)を使用してください。
市販の地図ディスク [ナビゲーションシステム研究会(ナビ研)の
規格に準拠したものも含む] は、本機では使用できません。

電源を入れる

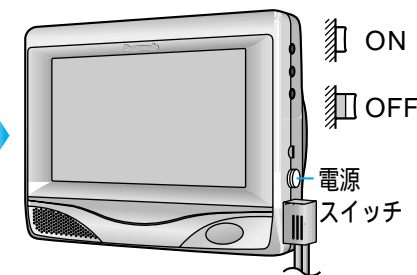
準備

地図ディスクを入れた
ナビゲーション本体を
スタンドに取り付けて、
コードを接続してください。

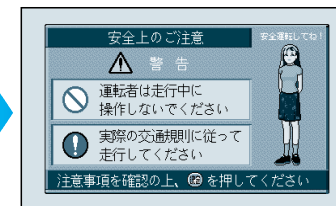
1 車のエンジンをかける
またはACCに入れる



2 電源スイッチを押す



3 リモコンの
決定を押す



現在地画面が表示されます。
オープニング画面が終了するまで、車を発進させないでください。
システムを起動する準備をしています。



初めて電源を入れたときは...
自車位置と異なる地図画面を表示しま
すが、GPSの信号を受信すると自車
位置付近の地図に切り替わります。
自車位置が正しく表示されないた
ときは、30ページをご覧ください。

お願い

電源は、必ず停車させてから
入れてください。

お知らせ

イグニッションスイッチを長時間
ONまたはACCにしたままでエン
ジンをかけない場合、バッテリー
があがる原因になります。

メニュー画面の使いかた

行き先・経由地の設定や、本機のシステムの設定などは、メニュー画面で行います。

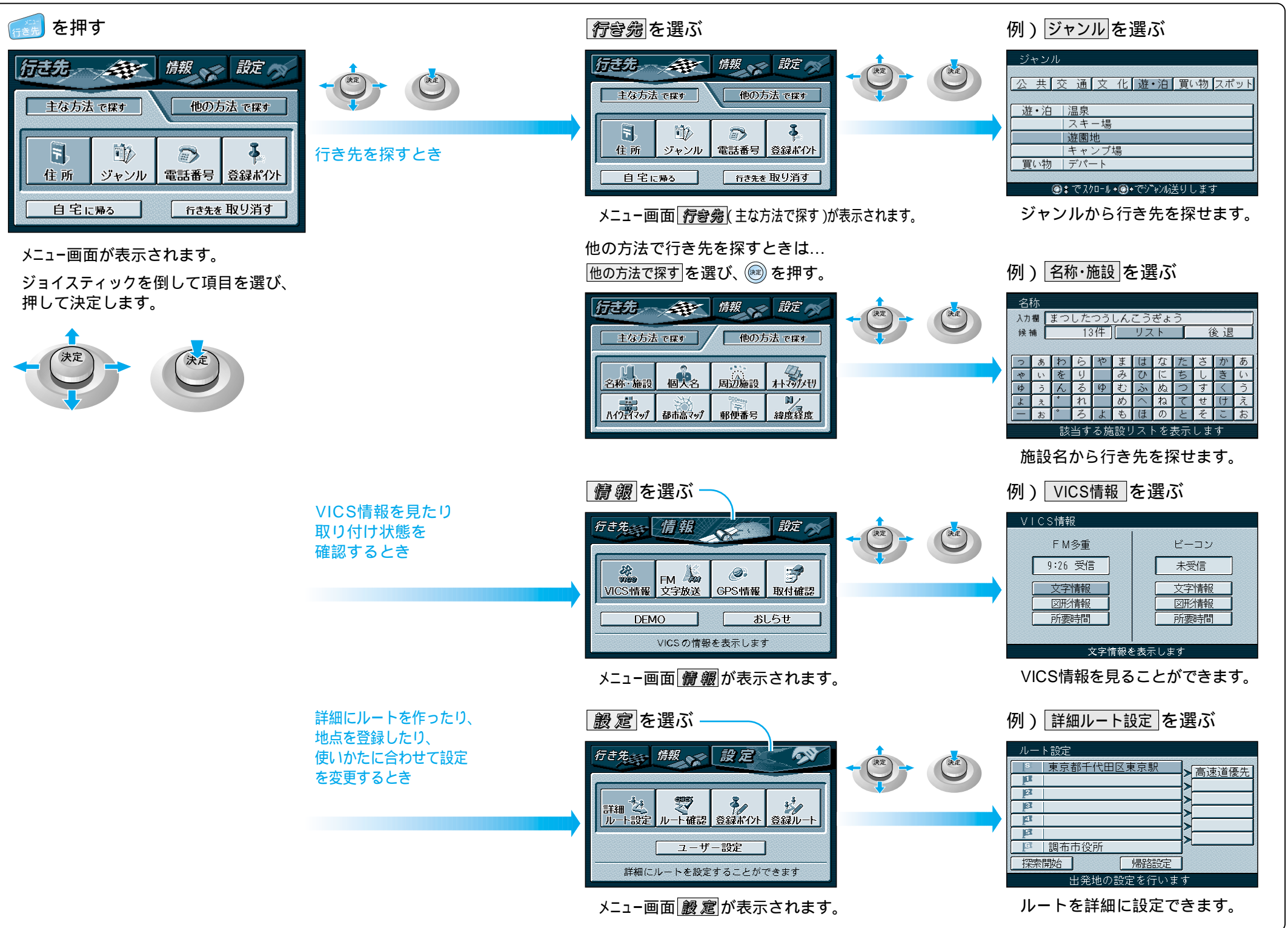


ひとつ前の画面に戻るには

戻る を押す
決定 を押す前の画面に戻ります。

音量を調整するには

音量 ↑ を押す (音量が上がる)
音量 ↓ を押す (音量が下がる)



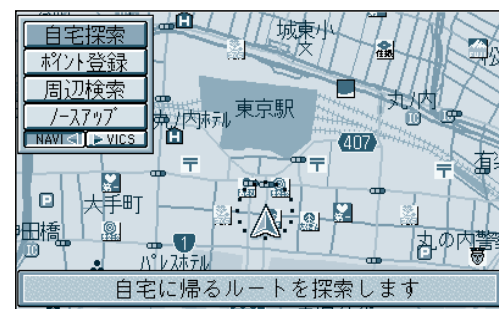
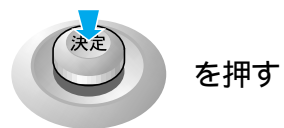
準備
メニュー画面の使いかた

サブメニューの使いかた

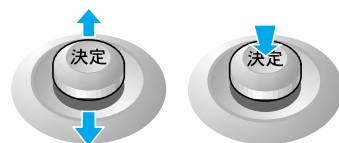
よく使う機能は、サブメニューを使って簡単に操作できるようになっています。



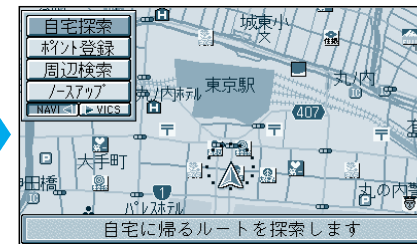
現在地または地図画面で



サブメニューが表示されます。
(地図の状態によって異なります。)
ジョイスティックを倒して項目を選び、
押し決定します。



現在地画面
表示中は



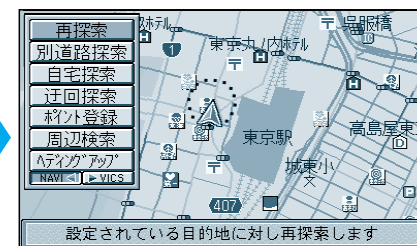
自宅探索：現在地から自宅までのルートを探します。
ポイント登録：現在地をポイントとして登録します。
周辺検索：現在地を中心に周辺の施設を検索します。
ノースアップ(ヘディングアップ)：
地図の向きを変更します。

地図モード画面
表示中は



行き先設定：カーソルの位置を行き先に設定してルートを探します。
経由地設定：カーソルの位置を経由地に設定してルートを探します。
ポイント登録：カーソルの位置をポイントとして登録します。
周辺検索：カーソルの位置を中心に周辺の施設を検索します。

ルート案内中は



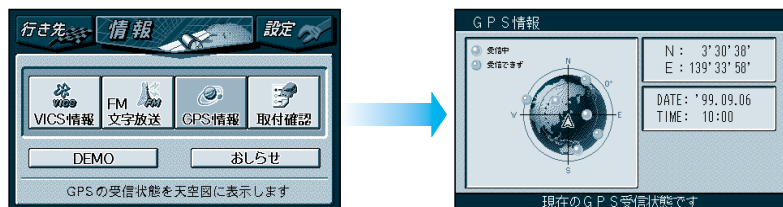
再探索：現在地から行き先までのルートをもう一度探索します。
別道路探索：別道路探索します。
自宅探索：現在地から自宅までのルートを探します。
迂回探索：迂回探索します。
ポイント登録：現在地をポイントとして登録します。
周辺検索：現在地を中心に周辺の施設を検索します。
ノースアップ(ヘディングアップ)：
地図の向きを変更します。

確認する

GPS衛星からの受信状態を確認する

GPSマークが点滅する、または表示されないときは、見通しの良い場所で、受信状態を確認してください。

- 1 メニュー画面 **情報** から **GPS情報** を選ぶ



GPS天空図が表示されます。

3つ以上の衛星番号が受信中になっていることと緯度経度が表示されていることを確認してください。

GPS情報
衛星番号/現在地の緯度・経度/現在の日付け/時刻/仰角 を表示します。
車両からGPS衛星を見上げたときの角度。
仰角の低い位置にある衛星は、障害物の影響を受けやすく、受信しにくくなります。

お願い

いつも受信中になっていない場合は、GPSアンテナの接続および取り付け位置を確認してください。

お知らせ

室内用のGPSアンテナで受信しにくい場合は、別売の室外用GPSアンテナ(CA-GP50D)をご使用ください。

準備
確認する

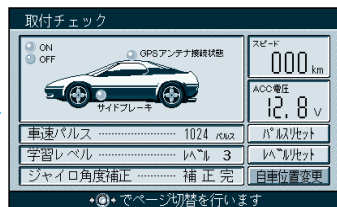
設置・接続を確認する

- 1 メニュー画面 **情報** から **取付確認** を選ぶ



取付チェック画面が表示されます。

- 2 確認する



拡張ユニット画面が表示されます。

取付チェック	GPSアンテナ	ON表示になっていますか？
	サイドブレーキ	サイドブレーキを引くとON表示に変わりますか？
	スピード	自車の速度を表示します。
	ACC電圧	12 V (11 ~ 16 V) になっていますか？
	車速パルス	32ページ参照
	学習レベル	32ページ参照
	ジャイロ角度補正	補正完了になっていますか？
自転車位置変更	32ページ参照：自転車マークの位置を修正する場合。	

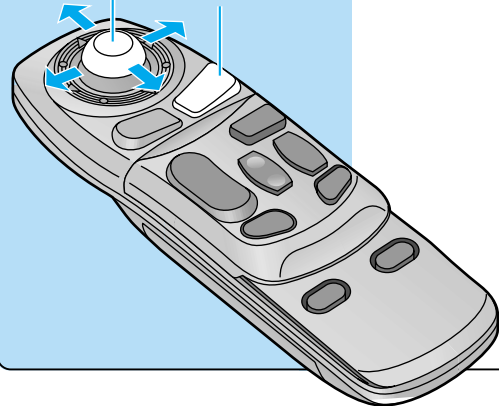
別売のVICSビーコン受信機・自立航法ユニット(CY-TBG100D)が必要です。

拡張ユニット	ビーコン/ジャイロユニット	別売のVICSビーコン受信機・自立航法ユニット(CY-TBG100D)が接続表示になっていますか？
		お知らせ ビーコンアンテナの取付チェック画面はありません。実際に走行して、受信できるかどうかを確認してください。

お願い

表示が変化しないときは、配線・接続をもう一度確認してください。
画面上での確認は、必ず停車してから行ってください。
別売のVICSビーコン受信機・自立航法ユニット(CY-TBG100D)のナビゲーション接続コードを抜き差しするときは、必ずナビゲーションの電源を切ってから行ってください。

ジョイスティックで選んで、押しで決定
メニュー画面を表示



自転車位置の自動補正を確認する

別売のVICSビーコン受信機・自立航法ユニット (CY-TBG100D) が必要です。

車から出力される車速パルスを利用して、より正確な自転車位置を地図画面上に表示させることができます。
(全自動距離補正システム)

本機を正しく動作させるため、取り付けたあと、

- ① 「車速パルス」と「学習レベル」をリセットし、
- ② 現在地画面で、しばらく(30分程度)走行してください。

取付チェック画面



VICSビーコン受信機・自立航法ユニット(CY-TBG100D)を接続したときのみ、表示されます。

車速パルス
数字が変化していますか？
「パルスリセット」を選ぶと、
車速パルスが0にリセットされます。

学習レベル(距離補正の精度)
数字が変化していますか？
(レベル3が最も誤差の少ない状態)
「レベルリセット」を選ぶと、
レベルが1にリセットされます。

走行時のお願い

オープニング画面が終了するまで、車を発進させないでください。
平均時速20 km以上で見通しの良い場所を走行してください。
GPS信号を受信していることを確認してください。(P.30ページ)

お知らせ

次の場合にもレベルリセットが必要です。
同じ車で違うタイヤに交換した場合 / 同じ車でタイヤをローテーションした場合
市街地などで渋滞・停車を頻繁にくり返すコースや右左折が多いコース、またGPS信号を受信しにくいコースでは補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出る場合があります。
車種によっては、スピードをあげると自転車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。

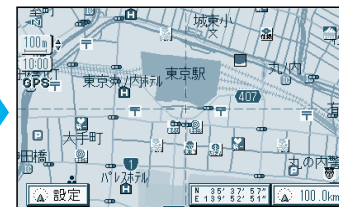
自転車位置を変更する

下記のようなときに操作します。
自車がいる地点と地図上の自転車位置が異なるとき
GPS信号を受信できずに自転車位置が正しく表示されないとき

- ① 取付チェック画面から「自転車位置変更」を選ぶ



- ② ジョイスティックで位置を調整し、「決定」を押す



- ③ ジョイスティックで自転車マークを進行方向に合わせて、「決定」を押す



ジョイスティックで選んで、
押して決定

メニュー画面を表示

